

しいのき



遺跡は語る中野の魅力

名誉館長 三 隅 治 雄

当歴史民俗資料館が開館して、間もなく10年目を迎えようとしています。当館の使命の第一は、長い年月をかけてこの地を耕し、育て、創りあげてきた郷土中野の生活文化生成の足跡を掘り起こし、その意義と価値を広く世に示すことにあります。この10年を振り返っても、館職員は、それまでの調査・収集の実績に加え、さまざまな歴史遺産の掘り起こしを行ってきました。この7・8月、中野区における埋蔵文化財の発掘調査の成果を纏めた企画展「遺跡は語る 大地に眠る歴史」にも、その成果の一端が見られましょう。平和の森公園北遺跡から発見された弥生時代の犬住居群や、北江古田遺跡から出た植物遺体や籠・編み物などの生活用品、遠藤山遺跡で発掘された二重周溝を持つ古墳、御嶽遺跡に見る戦国から江戸時代の村落跡と有力者の高度な生活を偲ばせる道具類等々…。いずれも学界からも注目された遺構・遺物で、陽光と水に恵まれた中野の台地が、遙かな昔から人々の居住を誘う魅力ある地であった歴史を物語ります。

文化財よもやま話

七夕

「七夕」は、牽牛星^{けんぎゅうせい}と織女星^{おひくじょせい}が一年に一度会うことのできるロマンティックな日とされています。牽牛星はわし座のアルタイル、織女星は琴座のベガのことで、二つの星は天の川をはさんで向かい合っています。誰しも、この日が晴れるようにと、願ったことがあるでしょう。

しかし、一方で、七夕の日は少しでも雨が降るものだ、とする伝承は少なくありません。多くの土地で「必ず雨が降るものだ」「少なくとも3粒は降るものだ」などと伝えており、中野区でも鷺宮では、七夕の日の午前10時に雨が降ると、病人が少ないといわれています。

七夕には水に関係する行事がたくさんあります。雨が降るとする伝承もそうですが、例えば年に一度井戸替えをする、水浴びをする、しかも人間だけではなく牛を川で洗うという地域もあります。これらは水を浴びることによって身を清めるといふ、禊の行事としての性格をあらわしています。

実は、よく知られた七夕の伝説は、中国から伝来したお話なのです。この星の祭りの七夕に対して、民間では数々の日本固有の習俗が行われていました。年中行事の中で7月7日は、7月15日を中心とする盆行事の一つとして考えられています。例えば、7日は「七日盆」と呼ばれ、盆の始まる日とされていました。祖霊でもある七夕様が乗る乗物として、藁や茅で藁馬^{わらうま}を作る地域も多く、鷺宮でも稲藁が入手できた昭和30年代頃まで藁馬は作られていたのです。



大地に眠る歴史

発掘調査はどうやるか(その3)

発掘調査はどうやるか、3回目になります。前回まで、遺構の掘削—観察—写真撮影—実測図という一連の作業についてお話ししました。

さて、遺跡では、遺構の他に発見されるものとしては遺物があります。遺物とは人類が使用して残した、土器・石器・木器・金属器など、すべてのものを対象としています。

考古学において、遺物の取扱いはまず、どこでどのような状態で遺跡から発見されたかが重要になります。したがって、出土したからといってすぐに上げたりしてはいけません。

移植ゴテで土を掘っていると、カチッといった感触で土器などが検出されます。その後は、まわりの土を刷毛や串などを用いて丹念に取り除き、全体の姿を出していきます。そしてブラシで水洗いをして出土状態の写真を撮影します。それから実測をして、出土した標高を計測します。これらの記録をすべて済ませたら、いよいよ取り上げ作業にはいります。取り上げは慎重にこわれないようにビニール袋や箱に収めて完了となります。



遺物の中には、大変遺存状況が悪いものもあります。写真は、江古田一丁目の御嶽遺跡で発見された江戸時代初頭の漆塗りの椀の検出作業です。

木製品はきわめて条件のよい環境でないと腐敗して消滅します。そのため、かなり柔らかな状況で発見される場合が多いのです。その時はまわりを石膏でかためて、土ごと取り上げ、その後、科学的な保存処理をします。(つづく)

事業報告

各種事業経過

1998年4月～6月

事業名	内 容	期 間
企画展	「新収蔵浮世絵にみる三代豊国とその弟子たち」	5/1～5/31
史跡めぐり	「中央・本町コース」 講師：角田 茂氏（中央大学大学史編纂課）	4/25
歴史講座	新発見中野区史	
	「旧石器人の足跡」 講師：渡辺 丈彦氏（慶応義塾大学大学院博士課程）	6/6
	「激動の弥生・古墳時代」 講師：比田井克仁（当館主任学芸員）	6/13
	「知られざる中世の中野」 講師：比田井克仁（当館主任学芸員）	6/20
	「天正検地帳は語る」 講師：落合 功氏（広島修道大学専任講師）	6/27
文化財調査	新井・上高田地区民俗調査	継続中
	新井・上高田地区民俗調査報告書刊行作業	4/1～
埋蔵文化財調査	江古田遺跡（旧国立療養所中野病院跡地）発掘調査	～4/30
	江古田遺跡（旧国立療養所中野病院跡地）調査報告書刊行作業	5/1～
	本田山遺跡調査報告書刊行作業	～6/30
	寺山西遺跡（ベタニアホーム地区）調査報告書刊行作業	継続中
	中野区保健施設建設予定地確認調査	6/15～6/22
	若宮一丁目民有地確認調査	3/18
	弥生町五丁目民有地立会調査	3/25
	丸山二丁目民有地立会調査	4/1
	松が丘一丁目民有地立会調査	4/15
	江原町二丁目民有地確認調査	5/6
江原町一丁目民有地立会調査	5/14	
*民有地の立会および確認調査については1998.3～5までとする		

NEWS

* 次回企画展示

「遺跡は語る一大地に眠る歴史」

これまでの遺跡発掘調査の成果を一挙に展示します。夏休み体験コーナーもあります。

7月18日から8月30日まで。

* 夏期所蔵名品展―染付の美―

1F特別展示室では7月から9月まで、古伊万里を中心に陶磁器を展示します。中野に残された名品の数々をご堪能ください。

* 郷土学習相談室を開設

8月25日から27日まで、区内在住の小中学生を対象に郷土学習相談室を開設します。

中野について考えていきましょう。

開設時間 10:00～12:00／13:00～15:00

（受付は9:30より）

人事異動

3月31日付勤労福祉会館へ小島満子異動

▷後任4月1日付建築課より藤山裕子着任

入館状況

1998年3月～5月（76日間） (人)

一 般	社教団体	学校教育	合 計
7,760	239	1,050	9,049

発行年月日 1998年7月1日

編集・発行



山崎記念

中野区立歴史民俗資料館

〒165-0022 東京都中野区江古田4-3-4

☎ 03(3319)9221 FAX 03(3319)9119

（印刷物登録番号 10中教社第4号）